

形 W2DC-03 デュアル近接スイッチ OMRON

■特長

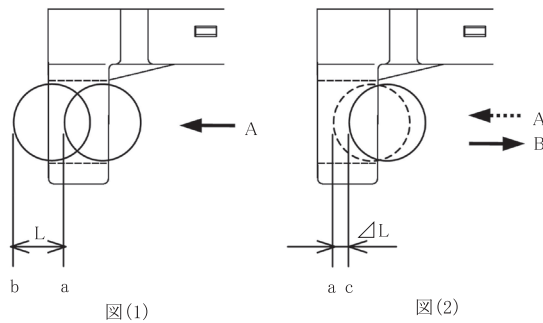
- パチンコ玉の通過方向が判別可能。
- 2レーン構成で並列配置する事で多レーン構成が容易に可能。

■仕様

| 項目 | 定格/性能 |
|------------|--|
| 検出範囲(*1) | 3.8 ~ 6.8 mm (当社基準のパチンコ玉による) |
| 応差(*2) | 0.1 ~ 1.0 mm |
| 動作点間距離(*3) | L1 ~ L4 全て 0.7 mm以上 |
| 標準検出体 | パチンコ玉 (φ 11±0.05 mm) |
| 電源電圧 | DC12 V±20 %, DC24 V±20 % |
| 消費電流 | 50 mA 以下 |
| 出力容量 | NPNオープンコレクタ出力 電源電圧 DC30 V、50 mA以下 |
| 出力形態 | ノーマリーオープン |
| 動作形態 | パチンコ玉あり時: 出力トランジスタON パチンコ玉なし時: 出力トランジスタOFF |
| 応答周波数 | 100 Hz以上 |
| 分解能 | 連続玉検出が可能 |
| 周囲温度 | 動作時: -10 ~ 55 °C (ただし氷結、結露なきこと) 保存時: -25 ~ 65 °C (ただし氷結、結露なきこと) |
| 周囲湿度 | 25 ~ 85 %RH |
| ネジの取付け強度 | 0.34 ~ 0.45 N・m |
| 電圧の影響 | 定格電源電圧±20 %範囲内で、定格電源電圧時の検出範囲に対する変化率±5 %以内 |
| 温度の影響 | 動作時周囲温度範囲内で、23 °C時の検出範囲に対する変化率±20 %以内 |

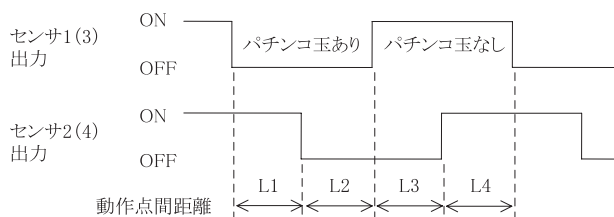


- * 1. 検出範囲とは、センサ1~4各々において、パチンコ玉を下図(1)のようにA方向に移動させ出力トランジスタがON状態となる点をa、更にA方向にパチンコ玉を移動させ出力トランジスタがOFF状態となる点をbとしたときの、a-b間の距離Lを検出範囲とします。
- * 2. 応差とは、下図(2)のようにパチンコ玉をA方向に移動させ出力トランジスタがON状態となる点をa、次にB方向に移動させ出力トランジスタがOFF状態となる点をcとしたときの、a-c間の距離 Lを応差とします。



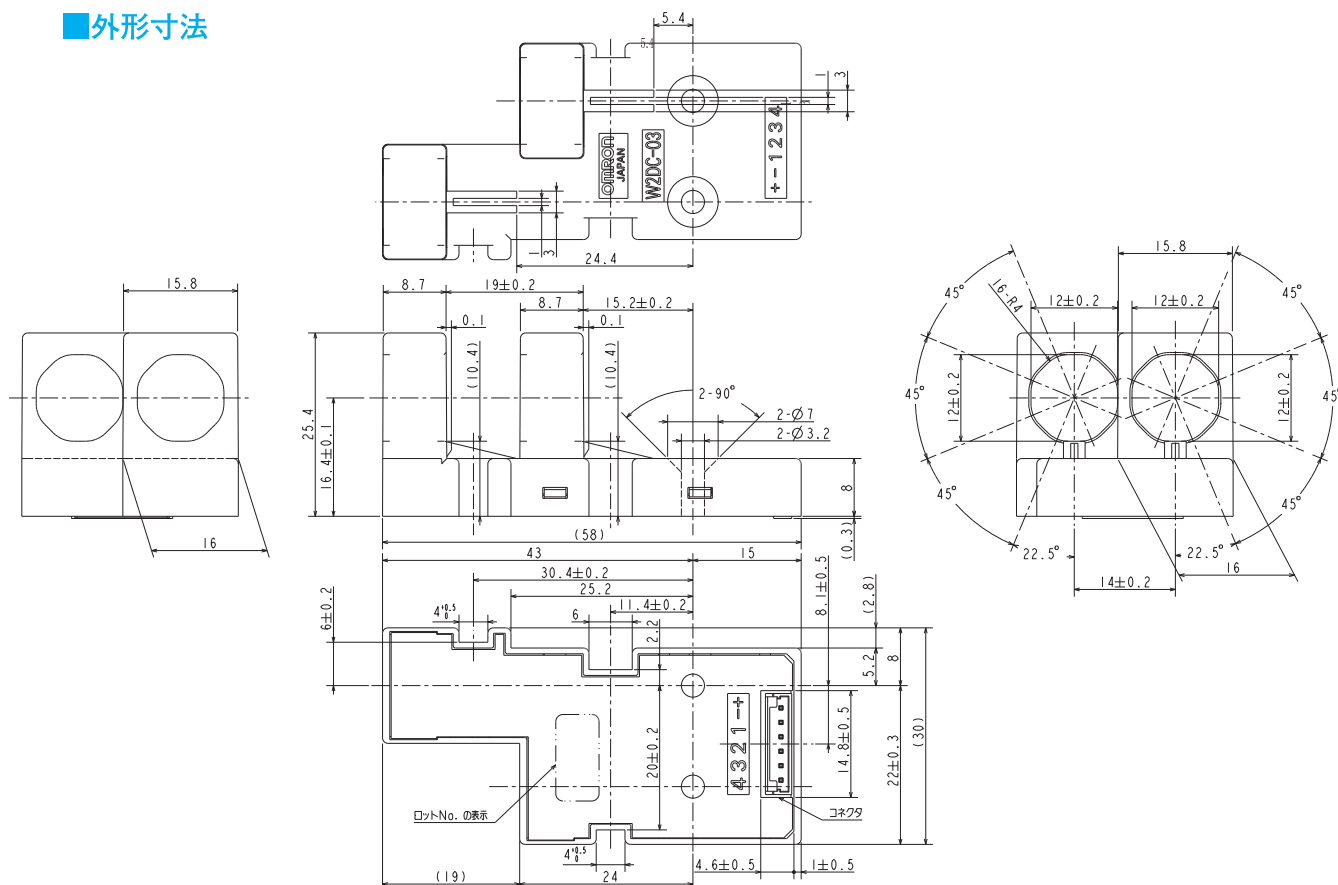
- * 3. 動作点間距離とは、複数の連続玉がセンサ1・2(または3・4)を図(1)A方向に通過した際のセンサ出力を図(3)に示します。
センサ1・2の動作点(トランジスタ出力が変化する点)と次の動作点の距離L1~L4を動作点間距離とし、次のように定義します。

L1: センサ1(3)のOFF点と、センサ2(4)のOFF点との距離
 L2: センサ2(4)のOFF点と、センサ1(3)の次のパチンコ玉のON点との距離
 L3: センサ1(3)のON点と、センサ2(4)のON点との距離
 L4: センサ2(4)のON点と、センサ1(3)のOFF点との距離



図(3)

■外形寸法



注記

1. 指示無き抜き勾配は0.5°以下とする。
2. 指示無き角隅部はR0.75とする。
3. 指示無き角度公差は±1°とする。
4. コネクタ部に適合するコネクタは
日本モレックス合同会社製 形51065-0600又は相当品とする。

*指定無き寸法公差は|T|5とする。 [単位:mm]

- 本製品について通常予想される故障発生を考慮した貴社製品の安全設計を行ってください。
- 当社の定めた仕様、保管、廃棄等に関する諸条件（本製品の取扱説明書、カタログ・仕様書等に記載された注意書き、警告を含む）を厳守ください。
- 本製品の欠陥が生命、身体への危害や物的損害を発生させる恐れの高い製品（原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器等）等、特に安全性が要求される用途への使用をご検討の場合は、定格・性能等に対して余裕を持った使い方やフェールセーフ等の安全対策へのご配慮をお願いします。
- 万一、本製品の不具合に起因して貴社製品が事故を起こした時は、当社営業担当者まで直ちにご連絡ください。

オムロン アミューズメント株式会社

本 社 〒491-0201
愛知県一宮市奥町字野越46番地
TEL 0586-62-7292

東京オフィス 〒108-0075
東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル7F
TEL 03-6718-3674